

# 主催 日本大学理工学部（東京都千代田区・千葉県船橋市）・日本大学生産工学部（千葉県習志野市）・日本大学工学部（福島県郡山市）・日本大学短期大学部（千葉県船橋市） 第73回 日本大学全国高等学校建築設計競技

すまいとまちのていあん

## 建築設計競技

日本大学全国高等学校・建築設計競技審査会  
審査員長 渡邊 康

### ■視点

#### 視点：1 多様な「間」の空間

「半屋外」や「中間領域」には、多様なあり方が考えられます。例えば、以下のような空間がヒントになるでしょう。

壁でプライバシーを守りつつ、天井のない中庭やサンルームのように空へと開かれた空間。

屋根によって雨や強い日差しから守られながらも、壁がなく外に開かれ、近所の人も気軽に立ち寄れる縁側や軒下のような空間。

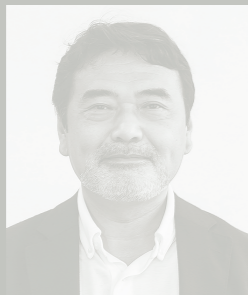
屋内でありながら土足で使え、水やりもできる、植物のための温室や玄関のような土間空間。

#### 視点：2 伝統的な「演出」の知恵を今に活かす

日本の伝統的な建築や庭園は、一見すると地味に映るかもしれませんが、しかし、「訪れた人にどう感じてほしいか」という「演出」の視点で見ると、さまざまな意図が隠されていることに気づきます。

そこにはCGのような高度な技術はありませんが、光と影の対比、空間の大小、視線の遠近といった基本的な操作によって、見る人の連想や想像力をかき立てる工夫が凝らされています。こうしたローテクでありながら人間の感覚に深く働きかける知恵は、現代の新しい建築やまちづくりにおいても応用できるはずです。これらを現代的に解釈し、提案に取り入れてみてください。

庭屋の関係がよくわかるように断面図を大切にし、CGに頼りすぎないしっかりとした図面が描かれることを期待します。



渡邊 康（わたなべ・やすし）  
建築家・日本大学生産工学部教授

#### 東京都生まれ

1982年 東京藝術大学美術学部建築科卒業

1986年 東京藝術大学美術研究科修士課程修了

1986年 アルテック建築研究所

1996年 渡邊 康建築研究所設立

1999年～ 日本大学生産工学部非常勤講師

（居住空間デザインコース）

2011年～ 日本大学生産工学部教授

#### 主な作品

森野ハウス、KAFKA HAUS、SILHOETTE、SILHOETTE2、浦和の家、中目黒の家、百人町の家、SET、都筑の家、祐天寺の家、山谷の家、高橋ヒュッチ、藤の家 など

#### 主な受賞

サロン・ド・ブランタン賞（1987年）、平成6年度東京建築士会住宅建築賞金賞（1987年）、平成6年度関東甲信越建築士会ブロック会賞（1987年）、第2回あたたかな住空間コンペ優秀賞（2000年）、山梨県建築文化賞（2005年） など

#### 主な著書

「集まって住もう」（共著）  
「アルベルゴ・ディフーゾー-ささやかな遺産を巡る旅」（共著） など

日本大学全国高等学校・建築設計競技委員会  
委員長 藤本利昭

### ■ごあいさつ

日本大学では、建築系学科を有する4学部（理工学部、生産工学部、工学部、短期大学部）6学科の共通事業として、長年にわたり「日本大学全国高等学校・建築設計競技」を実施してまいりました。

本設計競技は、昭和28年に「第1回全国工業高等学校設計競技」として発足し、今年度で第73回を迎えます。これほどまでの歴史を重ねることができたのは、ひとえにご参加いただいた高等学校および高等専門学校の生徒の皆様、そして情熱を持ってご指導にあられた先生方のご尽力の賜物であり、心より深く感謝申し上げます。本競技が、高等学校における建築教育の振興に微力ながら寄与できているのであれば、主催者としてこれに勝る喜びはありません。

これまでの変遷を顧みますと、第50回までは工業高等学校の生徒の皆様を対象としてまいりましたが、その実績を基盤とし、第51回からは専門分野の枠を超えて、広く生活空間や環境、住まいに強い関心を持つ若い世代へと対象を広げました。さらに第60回からは、高等専門学校3年生の皆様にも門戸を開き、建築・都市から「まちづくり」「暮らしづくり」を志す、より多くの若い感性に参加を呼びかけております。

本年度は、若者らしい瑞々しい感受性と自発的な探究心をもって、現在の暮らしと住まいを改めて見つめ直していただきたいと考えております。身体の五感を研ぎ澄ませ、環境や季節、時間の移ろいを直接体験できるような、未来に向けた「庭屋一如（ていおくいちによ）の家」の提案を募集いたします。

高等学校、高等専門学校の先生方におかれましては、意欲と熱意に溢れる生徒の皆様が、本設計競技という挑戦を通じて大きく成長されますよう、格段のご指導を賜れば幸いです。皆様からの創造性豊かなご応募を、心よりお待ち申し上げます。

日本大学 理工学部建築学科  
理工学部海洋建築工学科  
理工学部まちづくり工学科  
生産工学部建築工学科（幹事校）  
工学部建築学科  
短期大学部建築・生活デザイン学科

連絡先 〒101-8308  
東京都千代田区神田駿河台1-8-14  
日本大学理工学部建築学科教室内  
日本大学全国高等学校・建築設計競技会事務局  
E-mail：cst.arch.nu.hs.competition@nihon-u.ac.jp  
担当：佐藤慎也・泉山聖威・中村航・二瓶士門・大川碧望・岡庭拓也  
公式SNS Facebook：https://www.facebook.com/nu.hs.competition  
Instagram：https://www.instagram.com/nu.hs.competition/